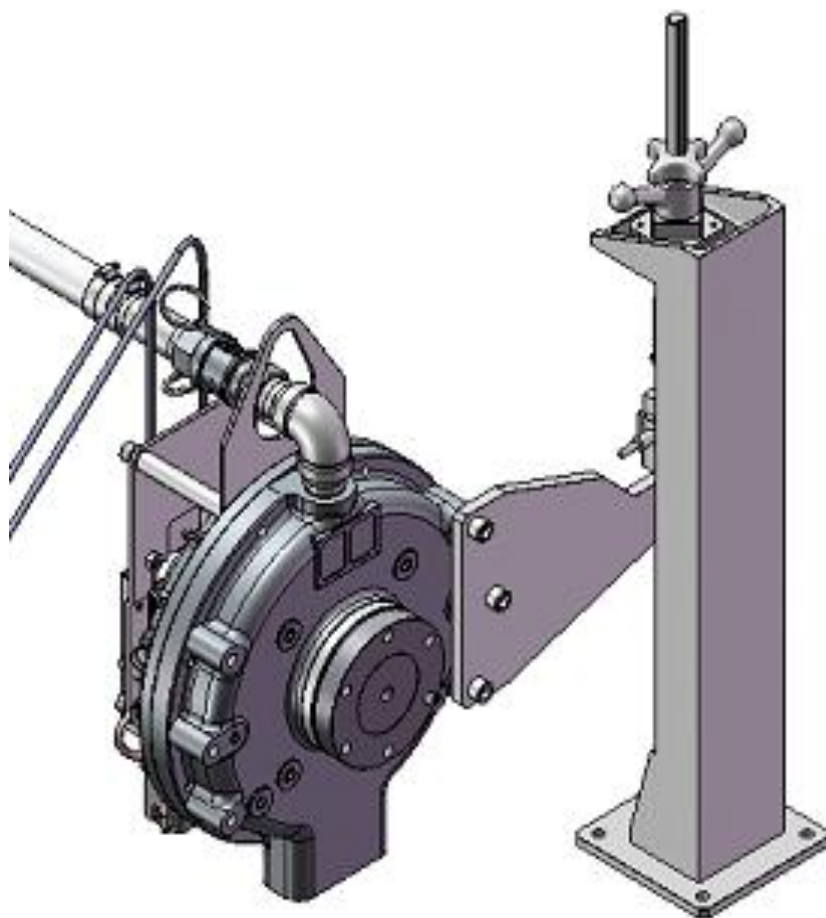


~Advanced Test System and Test Bench Engineering Professional~

Tokyo Plant Co., Ltd.

製品カタログ



ポータブル式水動力計

 TOKYO PLANT Co., Ltd.
東京プラント株式会社

Last update 2026/08/17

Copyright © Tokyo Plant Co., Ltd.

■製品概要

弊社は国内で唯一、ポータブル型水動力計を開発、設計、販売、製造をしており、製品の歴史としても40年以上が経過しております。

ポータビリティが高く、低コストで導入でき、エンジン負荷性能試験が実施できるため、極めて評価が高く、国内外の多くのお客様にご採用されています。



■製品ラインナップ

10kW～370kWまでの幅広い製品ラインナップを取り扱っております。

■実績

累計納入台数：500台以上（国内マーケットシェアNo1）

仕向地：国内、及び海外10ヶ国以上

主なユーザー：自動車、Tier1、Tier2、船舶、農機、建機、ガス会社、
エンジン整備工場、自衛隊、大学、高専、研究機関

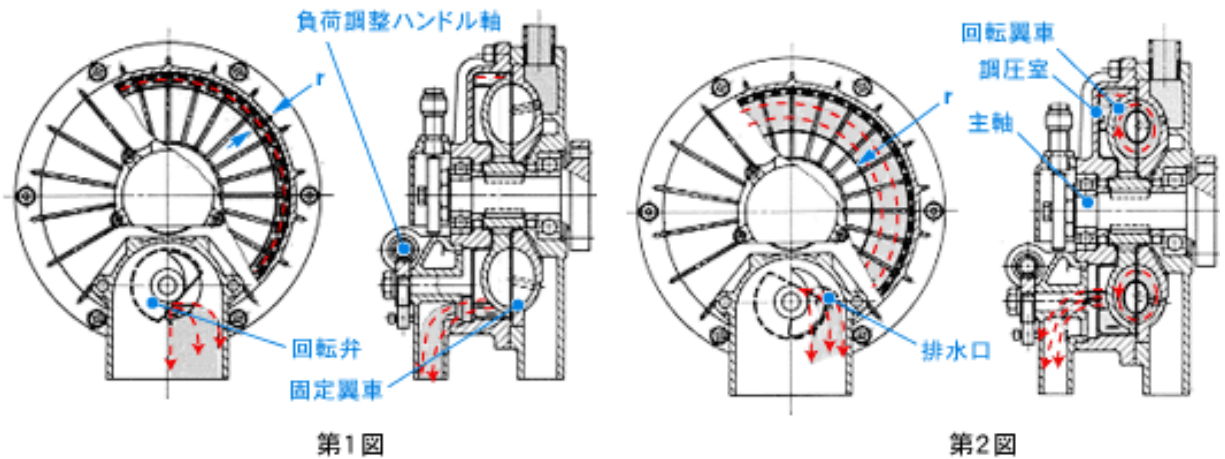
■納入実績(敬称略)

TOYOTA、NISSAN、HONDA、三菱自動車、ISUZU、富士重工業、
ヤマハ発動機、カルソニックカンセイ、アイシン精機、ヤンマー、クボタ、
三菱重工業、コマツ、島津製作所、日立製作所、川崎重工業、CAT、
NGK、リケン、キャタラー、イビデン、三井造船、コマツゼノア、
三ツ星ベルト、大同工業、バンドー化学、東邦ガス、各大学、各高専、
各国内外研究機関、各レースチームなど
(合計200社以上)

■特徴

低コスト イージーオペレーション	- エンジンのフライホイール、モーター軸などに直結可能。供試体によっては、難しい芯出し作業、軸継手が不要になります。 - 給水量をセットし、軽く回るハンドルの操作のみで、測定の全領域が調整できます。 - 回転数とトルクはデジタル表示を標準としています。 - 回転数とトルクのアナログ電圧を出力します。 - ケーブルの誤接続を防止するため、コネクター接続です。
小型・軽量化	- テストセル内で設置スペースを最小限にできます。 - 軽量で持ち運びが可能。試験をしない時は、倉庫、棚等に収納も可能です。
豊富なオプション (有償オプション)	- 自動制御システムにより、定速度制御、定トルク制御、プログラム運転制御などの自動制御ができます。 - 縦置きでもご利用できます。 - 可搬式の架台により、レール定盤が不要になります。環境条例に適合すれば、屋外にも設置可能です。

■原理と製品構造



1. エンジンにより駆動されている動力計に給水をする、水は矢印のように流れます。翼車室内で発生する流体摩擦により、エンジンの出力を吸収します。
流体摩擦は機械的エネルギーを熱エネルギーに転換し、水の温度を上昇させます。
2. 制動トルクの調整は、翼車室内に滞留する水量を変化させる事により、水抵抗を加減して行われます。タナカ式水動力計は負荷調整ハンドルにより回転弁（Pat）を廻し、排水口的位置を移動して「調圧室内の半径方向水位 r を変化させて」制動トルクの調整を行います。
3. 第1図は制動トルクが最小の場合で、給水口から入った水は翼車室をほとんど素通りして排水口から放出されます。
4. 第2図は制動トルクが中程度の場合で、第1図に比べ、半径方向の水位の増加に比例し翼車室内の滞留水量が増しています。

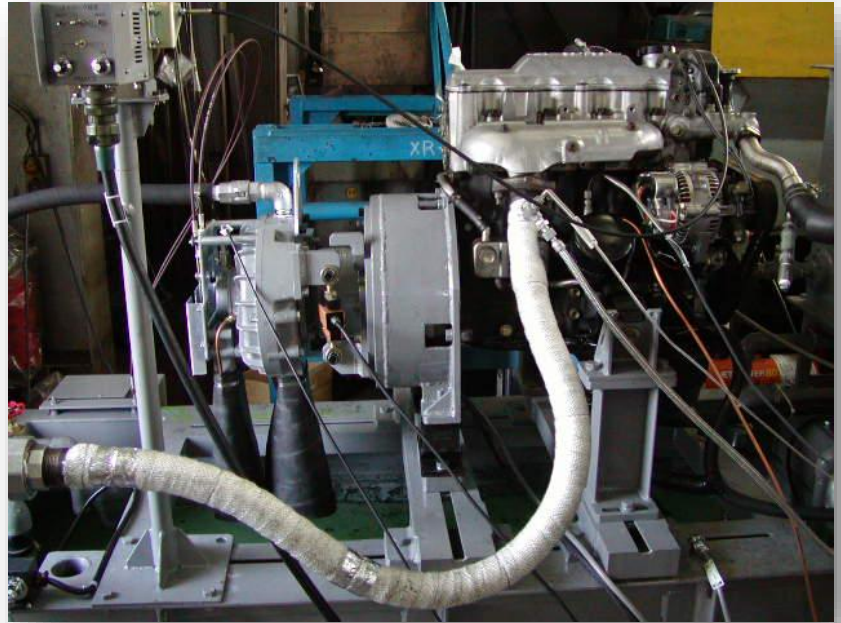
■ 製品の主な用途

○対象アプリケーション

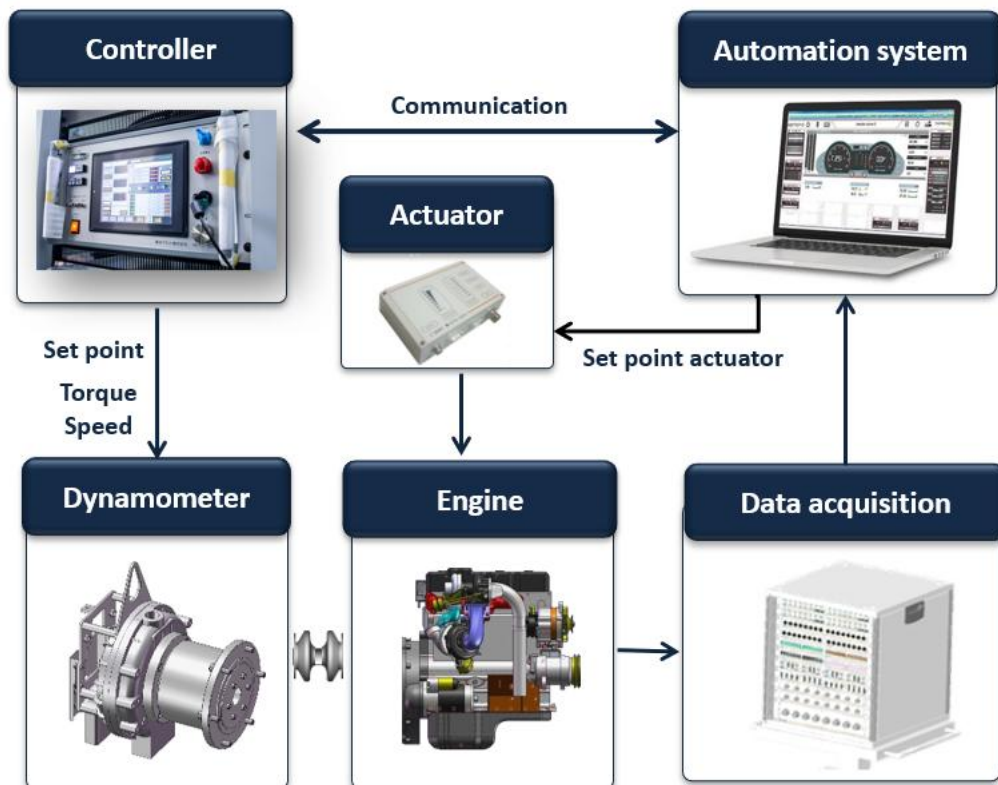
- ・ 船用エンジン
- ・ 農業機械用エンジン
- ・ 建設車両用エンジン
- ・ 発電機
- ・ 小型タービン
- ・ ポンプ
- ・ ガソリンエンジン
- ・ モータ
- ・ トラック用エンジン
- ・ ギアボックスなど

○対応可能な試験

- ・ 耐久性能試験
- ・ 部分負荷性能試験
- ・ 全開性能試験
- ・ コンポーネント評価試験
- ・ 他各種性能試験（定常）など



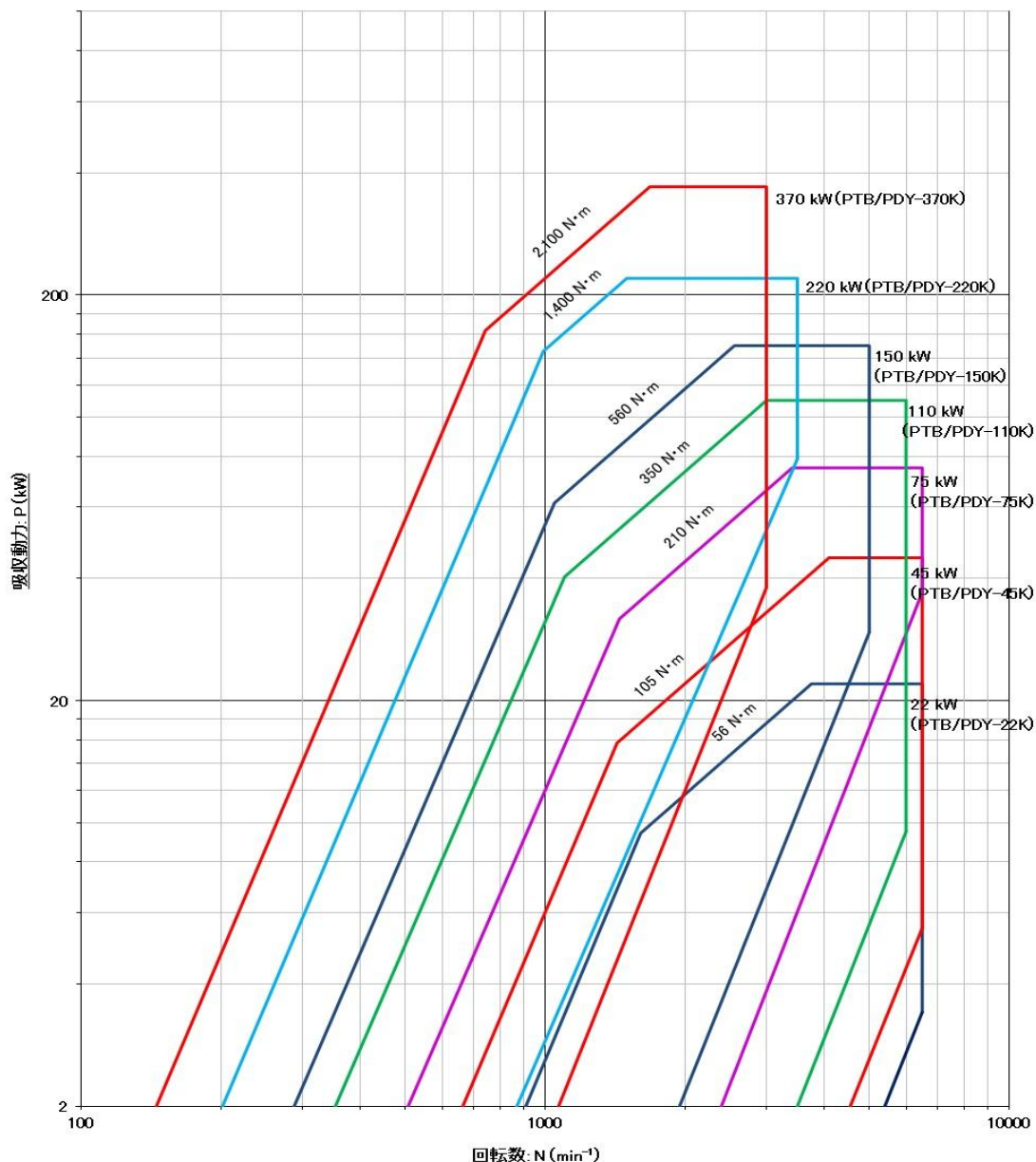
■ 代表的なシステム構成例



弊社ではお客様に最適な動力計、計測システム、付帯設備の提案が可能です。
オートメーションシステム、データ取得用センサーの選定、テストベンチのレイアウト
シャフト、ダンパーの選定など、ご要望がございましたら弊社営業部までお知らせ下さい。
お客様のご予算とご要望にあった最適な提案をさせていただきます。

■製品のラインナップ

- PTB/PDY型（非可逆式：制御可能な回転方向は、左右どちらか1方向になります）
小型～中型のガソリン、ディーゼルエンジン試験用に最適な製品ラインナップです



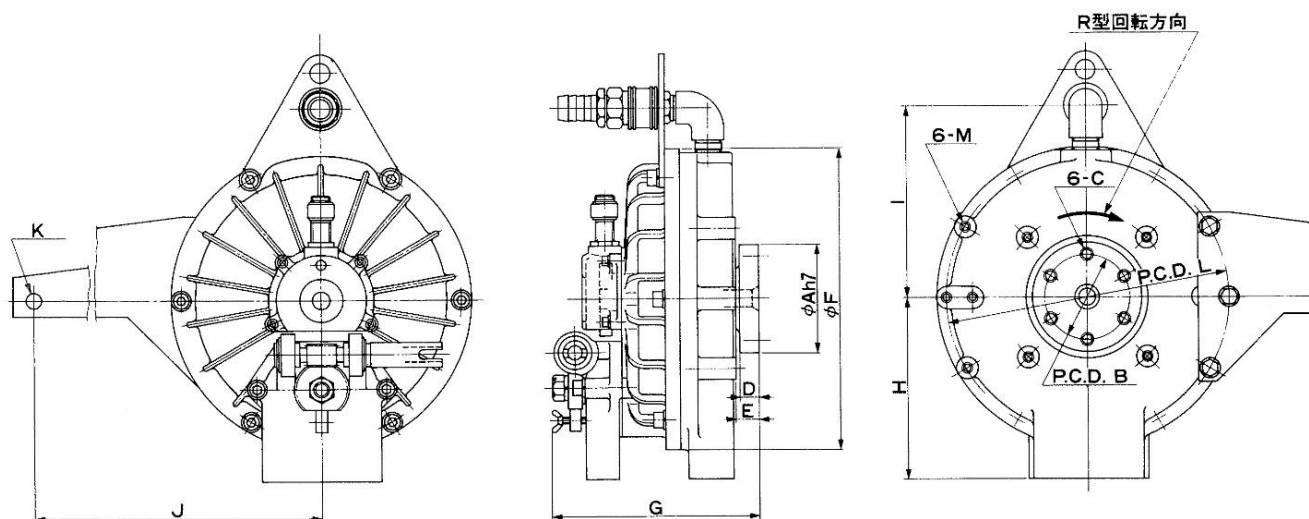
型式	最大制動出力 kW	最大制動トルク N.m	最高回転数 min ⁻¹	定トルク範囲 N.m	慣性モーメント kg.m ²	冷却水量 (必要水量) L/min
PTB-22K	22	56	6,500	1,610~3,750	0.0016	9
PTB-45K	45	105	6,500	1,430~4,090	0.0032	18
PTB-75K	75	210	6,500	1,450~3,410	0.006	30
PTB-110K	110	350	6,000	1,110~3,000	0.0107	45
PTB-150K	150	560	5,000	1,050~2,550	0.0325	60
PTB-220K	220	1,400	3,500	1,000~1,500	0.075	90
PTB-370K	370	2,100	3,000	750~1,680	0.17	150

※ 冷却水量：給水温度35℃かつ排水温度60℃時の理論給水量

※ 仕様変更：本仕様は改良等により、予告なく変更する場合がございます。

■製品のラインナップ

○PTB型/PDY型 乾燥重量と主要寸法



型式	質量 kg	主要寸法												
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
PTB-22K	7	80	60	M8 x 1.25	15	18	190	200	120	156	358.1	6.1	176	M6 x 1.0
PTB-45K	10	90	70	M10 x 1.5	15	18	218	213	132	169	358.1	6.1	200	M8 x 1.25
PTB-75K	12	90	70	M10 x 1.5	16	19	250	228	150	170	358.1	6.1	232	M8 x 1.25
PTB-110K	17	110	85	M10 x 1.5	16	20	300	250	180	196	358.1	6.1	280	M10 x 1.5
PTB-150K	23	130	110	M12 x 1.75	20	23	335	265	200	209	358.1	12.1	310	M12 x 1.75
PTB-220K	38	150	120	M16 x 2.0	25	30	416	320	230	275	500	12.1	386	M12 x 1.75
PTB-370K	70	180	145	M20 x 2.5	25	30	475	356	280	294	500	12.1	440	M16 x 2.0

PTB型とPDY型違い：上記の諸元は同様ですが、PDY型はフライホイールアダプターの取り付けが可能です。

※ PDY型の本体も同じ寸法です。

※ 質量：架台仕様等により決定。

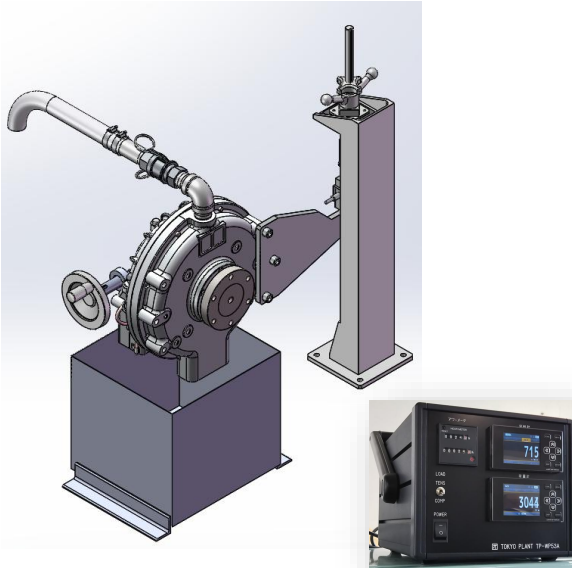
※ 仕様変更：本仕様は改良等により、予告なく変更する場合がございます。

■タイプ別の仕様：Aタイプ

○操作：手動直接操作ハンドル

概要)

動力計本体に差し込み式の負荷調整ハンドルを差し込み、負荷調整の回転弁を直接手動操作

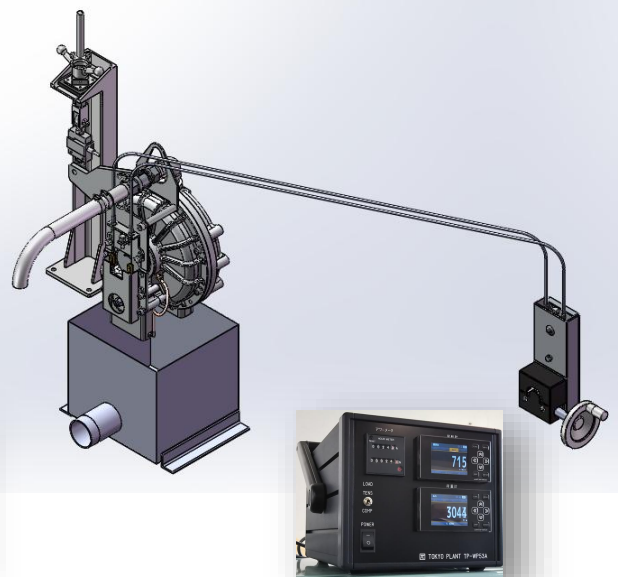


■タイプ別の仕様：Bタイプ

○操作：手動式遠隔操作ハンドル

概要)

リモコン装置と動力計本体は遠隔操作ワイヤと接続。負荷調整の回転弁を遠隔操作ワイヤにて手動操作するタイプ

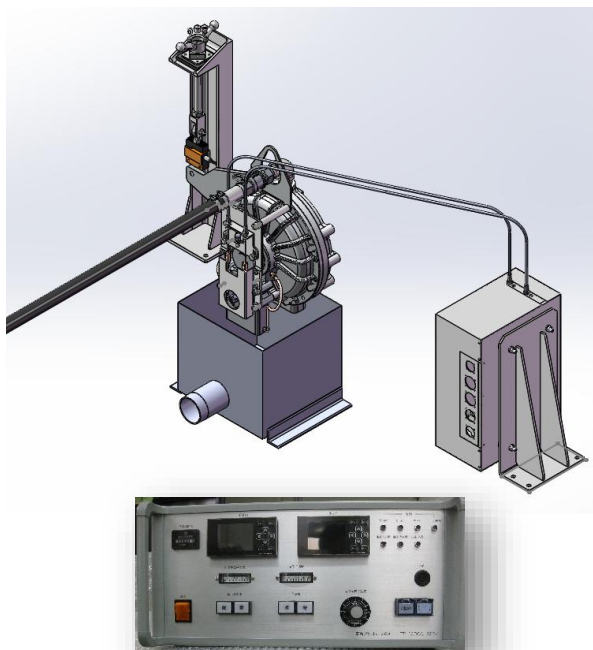


■タイプ別の仕様：Cタイプ

○手動制御コントローラ

概要)

リモコン装置と動力計本体は遠隔操作ワイヤと接続。負荷調整の回転弁を遠隔にて押釦スイッチ操作による手動制御操作するタイプ

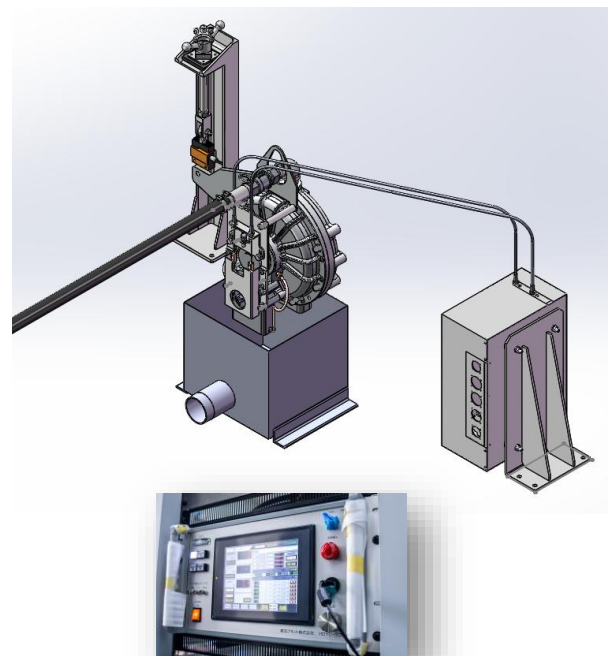


■タイプ別の仕様：Dタイプ

○操作：自動制御コントローラ

概要)

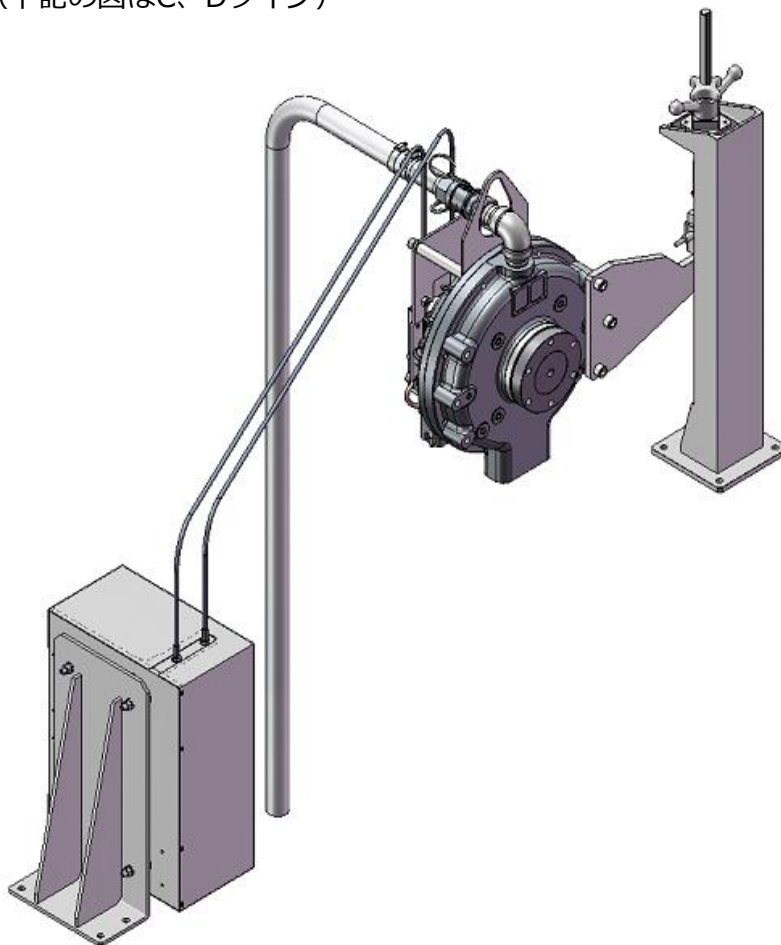
リモコン装置と動力計本体は、遠隔操作ワイヤと接続。負荷調整の回転弁を遠隔にて押釦スイッチ操作による手動制御操作、定速度制御、定トルク制御を選択してコントローラに設定した目標値に自動的に負荷制御するタイプ



※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

■製品の構成：A～Dタイプ

○システム構成（下記の図はC、Dタイプ）



○仕様一覧

仕様構成 / タイプ	A	B	C	D
1) ポータブル式 動力計本体（標準仕様）	○	○	○	○
2) 動力計側カップリングフランジ	○	○	○	○
3) ロードセル（トルク検出器）	○	○	○	○
4) ロードセル取付枠	○	○	○	○
5) 回転検出器	○	○	○	○
6) 手動直接操作ハンドル（Bタイプは手動式遠隔操作ハンドル）	○	○		
7) 回転数・荷重表示計（電源ケーブルは長さをご指定下さい）	○	○	○	
8) ロードセル用信号ケーブル（長さをご指定下さい）	○	○	○	○
9) 回転検出器用信号ケーブル（長さをご指定下さい）	○	○	○	○
10) 遠隔負荷操作用アクチュエータ			○	○
11) 負荷操作用手持ちリモコン			○	
12) 手動制御コントローラ			△	
13) 自動制御コントローラ				○

※△：7)と12)を統合したコントローラ（有償オプション）

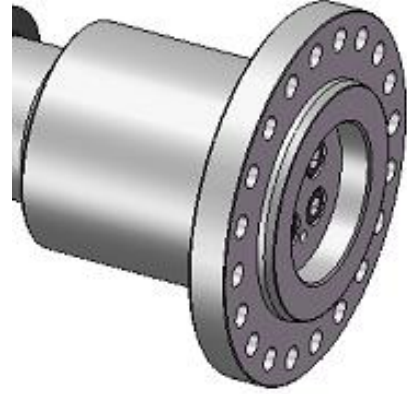
■製品の構成：A～Dタイプ

1) ポータブル式本体



全製品共通仕様です。
回転方向は一方のみです。
回転検出器は本体に付属されます。

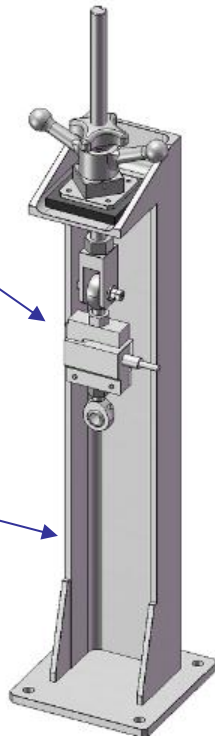
2) 動力計側カップリングフランジ



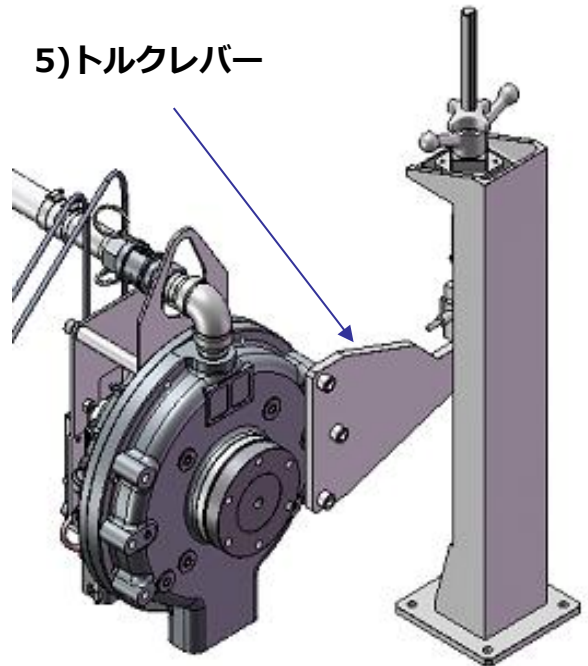
動力計本体に取り付けるカップリングフランジ
です。
詳細仕様打ち合わせで決定します。

3) ロードセル

4) ロードセル取付枠



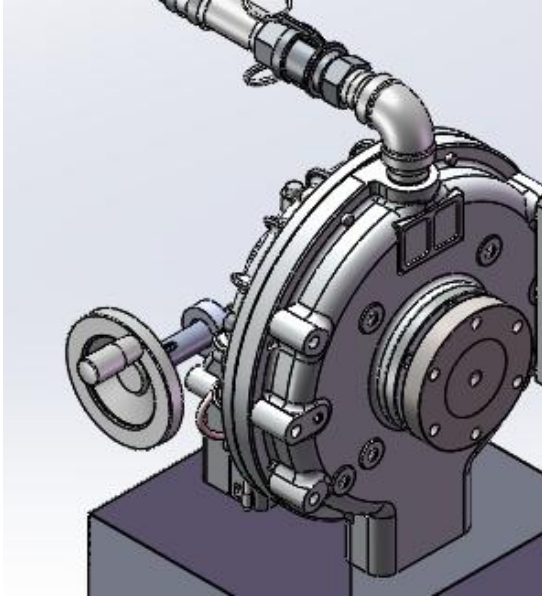
5) トルクレバー



ロードセルは動力計本体に付属するトルクレバーと接続します。

■製品の構成：A～Dタイプ

6) 手動直接操作ハンドル



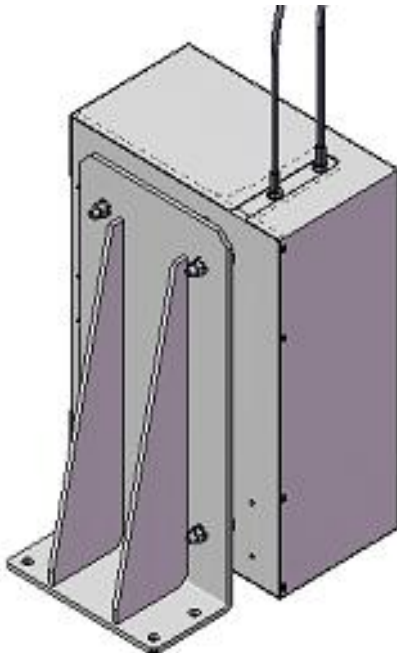
動力計本体に直接取り付けて、かつハンドルを回すことで動力計の負荷弁を制御します。

7) 回転数・荷重表示計



水動力計のロードセル信号をトルク値、回転検出器からのパルス信号を回転数として指示器に表示します。

10) 遠隔負荷操作アクチュエータ



Cタイプ、Dタイプに必要なアクチュエータです。ダイナモコントローラからの指令信号によりアクチュエータを操作して、動力計の負荷弁を制御します。

11) 負荷操作手持ちリモコン



動力計の負荷弁を制御します。主電源スイッチはアクチュエータ側面に付属

■ オプショナル製品のラインナップ

○ ダイナモコントローラ （手動制御コントローラ）



本コントローラは水動力計を用いて試験体の計測と手動制御を行うための制御計測システムです。回転速度・トルクの計測機能、手動操作で試験体の回転数・トルク制御を行うための制御機能、システムの異常を検知・処理する警報機能を搭載しています。簡単にオペレーションができます。

○ 主要諸元

型式	TP-1000A
手動操作	手動負荷制御：押釦で、負荷操作モータの動作に連動して負荷弁の開閉をする事により吸収トルクの増減を行います。
表示機精度	回転表示計測：表示器メーカー仕様に準ずる トルク表示精度：表示器メーカー仕様に準ずる ※エンジン、及び動力計の状態、冷却水の圧力の影響により、精度範囲に収まらない場合が御座います。
警報設定、監視	動力計オイル潤滑：検流器によりオイル流量を監視 警報発生時は、エンジンをアイドリングに戻すと共に負荷減ボタンを押しつづけて負荷下限にします。
外部入出力	アナログ電圧入出力(0-10V)、接点信号
所要電力	3相AC200V 50/60Hz 15A
主要寸法	本体：W480×H249×D430mm ラック収納時：W 520×H543×D600mm
質量	本体：約20kg (収納ラック・電源パネルを含む場合：約50kg)

※本製品の仕様は予告なく変更になる場合が御座います。
※本製品の詳細は、ダイナモコントローラのカタログをご覧ください。

■ オプショナル製品のラインナップ

○ ダイナモコントローラ （自動制御コントローラ）



本コントローラは、水動力計専用コントローラです。
水動力計を用いて試験体の計測とフィードバック制御を実行する制御計測システムです。
回転速度・トルクの計測機能、手動、または自動で試験体の回転速度・トルク制御を行うための制御機能、システムの異常を検知・処理する警報機能を搭載しています。

○ 主要諸元

型式	HDYC-1000
制御モード	手動制御：手動操作によるエンコーダダイヤル設定値により、水動力計の負荷弁の開度を調整し、エンジンのトルク、回転数を制 定回転速度制御：設定回転数に対して、フィードバック制御を実行 定トルク制御：設定トルクに対して、フィードバック制御を実行 船用特性制御：回転数の2乗に応じたトルク係数から負荷を算出し、3乗制御を実行 外部制御：外付けの上位システムからプログラム運転制御計測を実施
※制御精度	エンジン、及び動力計の状態、PID調整の設定、冷却水の圧力の影響により、精度範囲に収まらない場合が御座います。
警報設定、監視	非常停止：異常発生時、非常ボタンにて制御停止を実行 過回転：動力計の最大回転数の上限を監視 過負荷：動力計の最大トルク値の上限を監視 給水温度：動力計の冷却水温度を監視（35℃） 排水温度：動力計の排水温度を監視（60℃） 軸受温度：動力計の軸受温度を監視（80℃） 外部警報：外部の接続機器を接点信号入力で監視
外部入出力	アナログ電圧入出力(0-10V)、アナログ電流出力(4-20mA)、A接点
所要電力	3相AC200V 50/60Hz 15A
主要寸法	本体：W480×H249×D430mm ラック収納時：W 520×H543×D600mm
質量	本体、収納ラック・電源パネルを含み：約50kg

※本製品の仕様は予告なく変更になる場合が御座います。
※本製品の詳細は、ダイナモコントローラのカタログをご覧ください。

■製品のラインナップ：PDYシリーズ

○仕様一覧

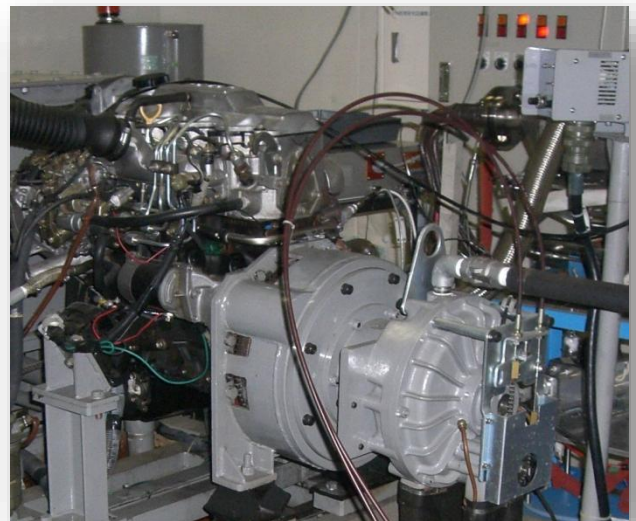
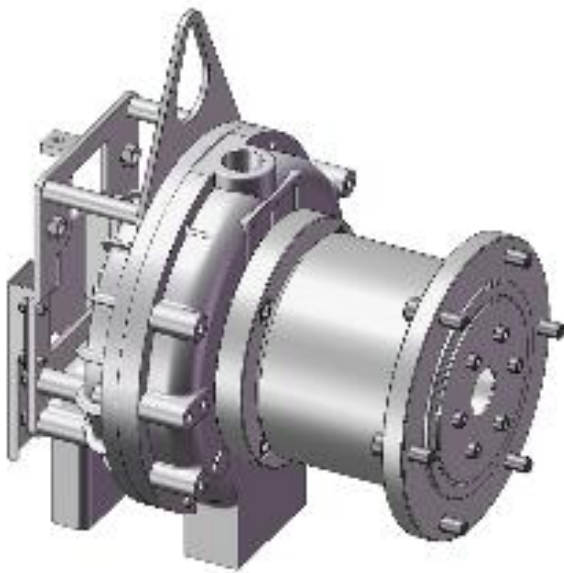
仕様構成 / タイプ	A	B	C	D
1) フライホイール・アダプター	○	○	○	○
2) イケール	○	○	○	○
3) 中間軸ユニット	○	○	○	○
4) トルクメータ	○	○	○	○
5) シャフト、ダンパー	○	○	○	○
6) 可搬式ベンチシステム	○	○	○	○

※△：全て特注仕様の有償オプションとなります

※6) の詳細は可搬式ベンチシステムのカタログをご参照ください。

○オプション機能

1) フライホイール・アダプター



フライホイール・アダプターにより、お客様のエンジンのフライホイールとポータブル式水動力計が直結できます。

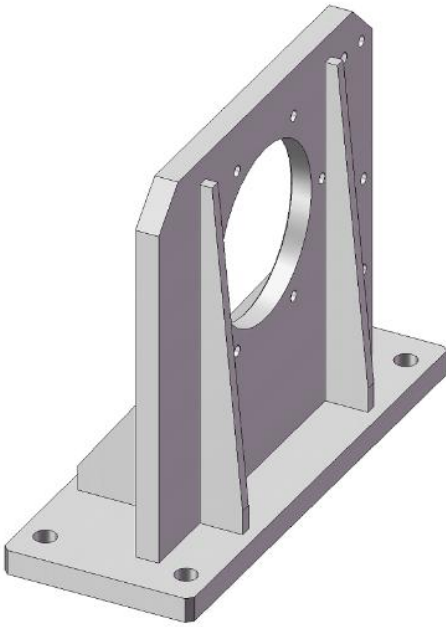
フライホイール・アダプターは特注設計となります。

※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

■製品のラインナップ：PDYシリーズ

○オプション機能

2) イケール



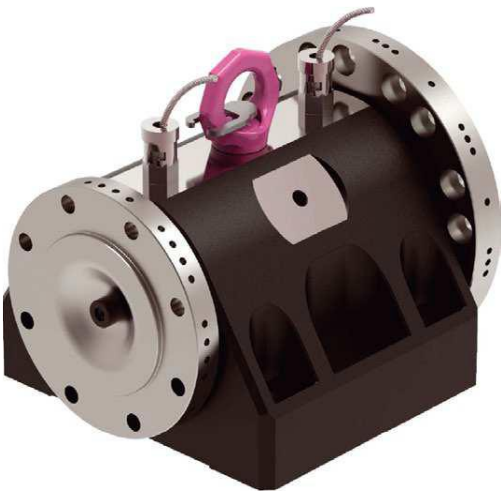
L字など多様な形状に対応できます。
イケールは特注設計となります。



イケールの製作事例

○オプション機能

3) 中間軸



熱膨張、振動等によるアライメントの
変化を吸収し、エンジンと動力計破損を
回避します



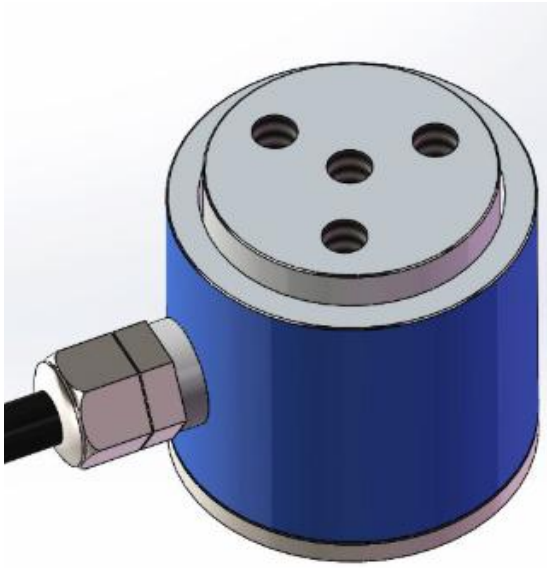
中間軸の製作事例

※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

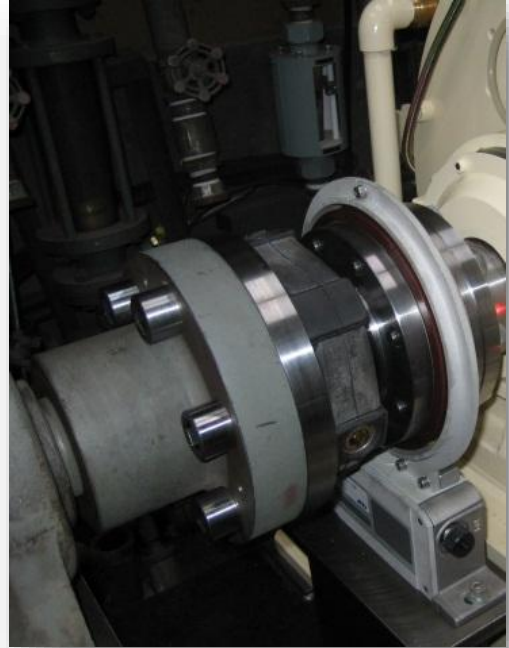
■製品のラインナップ：PDYシリーズ

○オプション機能

4) トルクフランジ



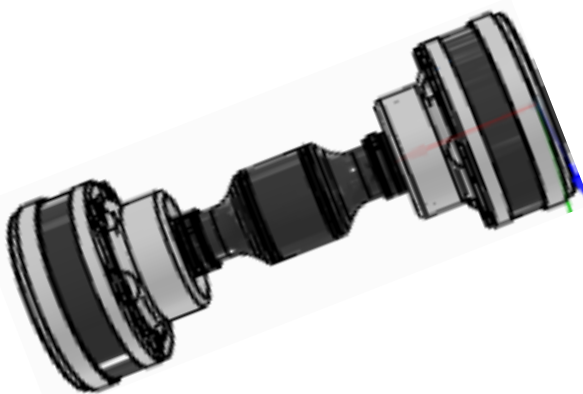
供試体のトルクを高い精度で検出します
(メーカー、型式、仕様に準じます)



トルクフランジの納入事例

○オプション機能

5) シャフト、ダンパー



エンジンのねじり振動の低減、
ミスアライメントを吸収します。



シャフト、ダンパーの納入事例

※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

■製品のラインナップ：PDYシリーズ

5) 可搬式ベンチシステム

○製品概要

簡易的なテストベンチです。

ポータブル型水動力計とエンジン設置用架台を兼ねた水槽を一体式とし、可搬タイプとすることができます。

レール定盤が不要となるため、テストベンチ立ち上げ時、イニシャルコストが大幅に削減できます。

冷却塔設置、テストセルの立ち上げが困難な状況の中、低コストでエンジンテストを実施されたいお客様に最適な事例となっております。

また可搬タイプとして屋外でも使用できるタイプです。

(但し、環境保護条例の適合が必要です)



※製作仕様はお客様とお打ち合わせの上、決定となります。

※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

■特注事例 HDY型 ポータブル型水動力計

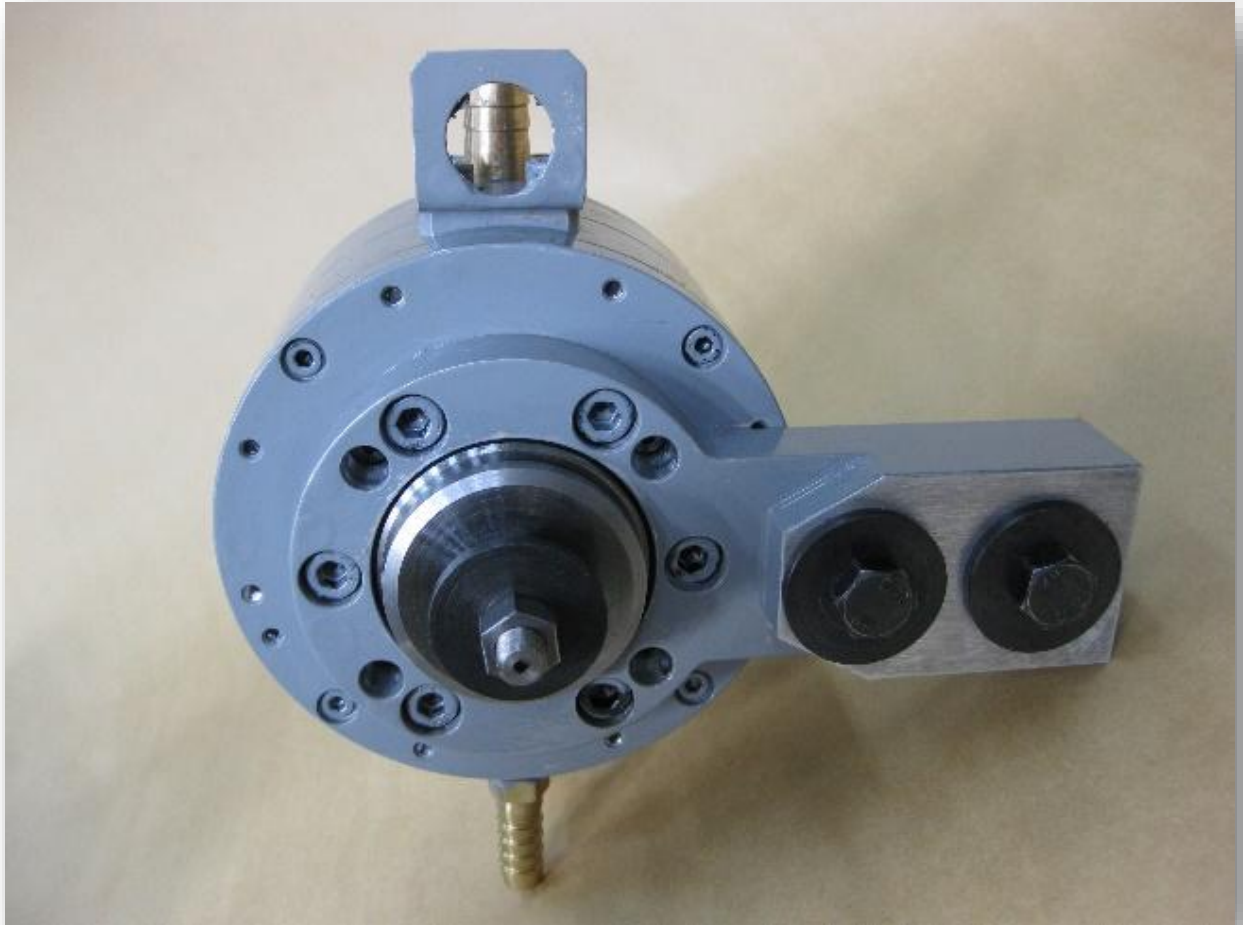
○製品概要

高速回転タイプの仕様となります。(回転数は、8000～X min-1)

※最高回転数は別途打合せとなります

出力レンジは10kW～120kWの製作事例があります。

回転数の高いガソリンエンジンなどの試験に最適です。



※製作仕様はお客様とお打ち合わせの上、決定となります。

※本製品の詳細は、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

■有償オプション製品

○オートメーションシステム MORPHEE



MOPRHEE メイン画面（参考）

製品概要）

テストベンチのデータ取得、プログラム運転、テストシーケンスの設定など、基本的な機能に加え自動化やECU適合の統合、テストベンチでのリアルタイムのモデル実行など、一連の機能を実装しています。

テストベンチにおけるテストの信頼性向上し、台上試験、実車試験、適合プロセスの工数削減に寄与します。

※MORPHEEの開発、販売元はENORISE社です。

○センサー中継ボックス（MIOモジュール）



製品概要）

エンジン、ドライブトレインのベンチテストにおいて、ロバスト性が高く、拡張性の高いI/Oモジュールが必要とされています。

センサー中継ボックスは、お客様のニーズに合わせて各モジュールと、入出力信号のタイプ（温度、圧力、アナログ、デジタル、接点など）を自由に組み合わせることが出来ます。

○各種テストベンチ ユーティリティ

テストベンチに必要な各種ユーティリティーをお客様のご要望に応じて提供いたします。エンジンのねじり振動を低減するため、最適なシャフトやダンパーの選定も実施します。



エンジンマウント、移動式共通架台



シャフト、ダンパー、特注アダプタ
シャフト用安全カバー

■メンテナンス、アフターサービス

毎日の健康に気を配っている人でも、その日の体調を漠然と判断する事はできません。専門医の力を借りなければ体内の健康状態を正確に知ることはできません。試験装置はテストを繰り返すにごとに、数々のパーツがほんのわずかつ磨耗します。また、それらの磨耗を最小限度に防ぐために使われているオイルも使用頻度や時間の経過により劣化及び消耗します。自然の再生能力を持たない試験装置は、定期的なメンテナンスで健康状態を把握し、必要な整備を行う事でベスト・コンディションを維持することができるのです。

試験装置で正確なデータ計測をするためには、定期メンテナンスが必要です。



○定期メンテナンスは未然に故障を防ぎます

特に連続耐久試験等、過酷な条件下で試験装置をご使用されている場合、ベアリング、各部シールの傷みが早いため、これらは定期的な交換が必要です。製品のメンテナンス後、弊社で検量検査、運転検査など出荷前に製品のコンディションを綿密に確認します。厳格な弊社の品質基準をクリアした試験装置のみを、再びお客様にお届けいたします。

○定期点検の推奨

テストベンチにおいて、常に正確な計測データ収集するためには、メンテナンスとは別に半年から1年に1度の定期点検を実施されることを推奨いたします。弊社エンジニアによる出張作業にて、日本全国、世界各国どこでも対応可能です。
(※定期メンテナンス、定期点検は有償対応です)

■スペアパーツと校正作業

動力計のスペアパーツ、ロードセル、回転検出器などのセンサーの単品供給も可能です。また、ロードセル、表示計の引き取り校正も実施しております。貴社の管理上、ご必要な時期になりましたらお問い合わせください。(事前予約が必要です)



■関連製品

○タナカ式水動力計

タナカ式水動力計は、世界を代表する水動力計で、自動車技術ハンドブックをはじめとする、多くの文献で紹介されています。

耐久性、高精度、高応答性、低慣性を誇り、国内外の多くのお客様にご採用頂いております。出力レンジは、88kW～20000kW、低速用、高速用、高トルク用など幅広いラインナップを取り揃えております。



詳細は、タナカ式水動力計の製品カタログをご覧ください。

■ポータブル式水動力計のレンタル、中古品

○イニシャルコストを削減

弊社では、お客様のご要望にお応えし、動力計のレンタル、中古再生品（リビルド製品）の取り扱いをしています。

【お客様具体的なニーズ】

- ・ 急な試験の予定が入りあり、すぐに動力計を使いたい。
- ・ 予算が十分に確保できなかった。
- ・ 資産計上せず、損金算入したい。

○ レンタル

最長期限：2年間

在庫品：数に限りがございますので、お手数ですが、都度、弊社に御問い合わせ下さい。

○ 中古再生品

フルオーバーホールした製品（ほぼ新品同様）

保証期間1年間を付与

※カップリングフランジ、架台（高さ調整）は新規製作が必要です。

○校正証明書

ISO対策などに必要な、動力計の校正証明書を添付します。

■お問い合わせの流れ

担当営業、お電話、メール、WEBサイトなどへ、お気軽にお問い合わせください。

○良くあるお問い合わせ内容

プランニング

テストセル、テストベンチの立ち上げ、設備更新・改造など、お客様のプランニングをお聞かせ下さい

御見積依頼

動力計の用途、試験内容、エンジン諸元、計測項目、テストパターン、スケジュールなどをお聞かせ下さい。

修理、点検依頼

お客様がご使用されている製品の型式、製造番号、またご要望の対応希望日時をお知らせください。

技術的なご質問

製品構造、原理などご不明な点をお聞かせ下さい。技術担当にお繋ぎをさせていただきます。

製品のお取り扱いへのご質問

使用方法について、ご不明な点をお聞かせ下さい。製品担当にお繋ぎをさせていただきます。

その他

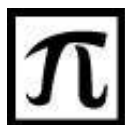
ご要望、ご意見、ご不明な点をお聞かせ下さい。製品担当にお繋ぎをさせていただきます。

お客様よりお問い合わせ、お話を頂いた内容については、守秘義務事項として責任をもって弊社内において厳重に取り扱いをさせていただきます。

【問い合わせ先】

東京プラント株式会社 営業部
〒196-0024 東京都昭島市宮沢町515-5
TEL:042-546-6500 FAX042-546-6600
URL : www.tokyo-plant.co.jp
E-mail: sales@tokyo-plant.co.jp





Since 1948